



伊方町社会福祉協議会だより

第98号

令和6年5月1日

ぬくもり

編集 社会福祉法人 伊方町社会福祉協議会

発行 〒796-0301 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1995番地1

TEL(0894)38-2360 FAX(0894)38-2363

小学校へ入学する児童へ 入学用品を 贈呈しました！



皆様から、まごころ銀行へお寄せいただいた善意の寄付金から、令和6年度に小学校へ入学する児童を祝福し、保護者の負担軽減を図ることを目的として、対象児童26名に小学校で使用する「絵具セット」を贈呈させていただきました。友達をたくさん作って楽しい学校生活をおくっていただきたいと思います。皆様の温かい善意に深く感謝いたします。

★この「絵具セット」贈呈事業は、継続事業として毎年実施する予定です。



この広報誌は、皆様にご協力いただきました

「赤い羽根共同募金」

の配分金により発行されています。

令和6年度 事業計画

事業方針

本町は平成17年には人口約1万2千人いましたが、現在は約8千人と4千人ほど人口が減少しました。国の方では2030年に、人口の3人に1人が65歳以上の高齢者になると予測され、労働力人口の減少などが懸念されています。

また、本会でも地域福祉を支える職員の担い手減少や高齢化が著しくなり、このままでは本会の在り方についても検討が必要になるかと思えます。職員の処遇改善などのあらゆる手段を講じ、人材確保や育成・組織編成・効率化等を行い、サービス向上に努めたいと思います。

本町でも少子高齢化・人口減少が急速に進み、地域機能の低下や社会的孤立・経済的困窮などが懸念され、地域福祉の課題もより複雑・多様化していきます。

このような状況の中、こども、高齢者、障がい者など全ての人々が地域で安心して暮らし続けるには「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりが必要となっています。地域住民と一緒に地域課題解決に向け、関係機関等と協働しながら住みよい町づくりのために地域福祉活動を展開していきます。

重点項目

- ◆ 福祉を支える人材の確保
- ◆ 将来を担う人材育成
- ◆ 組織体制の強化

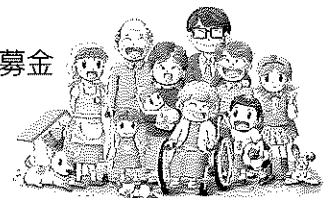
事業別計画(抜粋)

1. 法人運営事業

- 社協会費全戸会員制の推進
- 伊方町社会福祉大会の開催
- 社協だより「ぬくもり」の発行
- SNSの活用

2. 地域福祉活動・在宅福祉事業

- 福祉相談援助活動
 - ・心配ごと相談所の開設
 - ・心配ごと法律相談所の開設
- 福祉サービス利用援助事業
- 法人後見事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 生活困窮者自立支援事業
 - ・自立相談支援事業
 - ・家計改善支援事業
 - ・就労準備支援事業
 - ・フードサポート事業
- ふれあい・いきいきサロン、子育てサロンの推進
 - ・ふれあいサロンの実施
 - ・コミュニティカフェの実施
- 在宅要介護老人等紙おむつ支給事業
- 給食サービス事業
- 配食サービス事業
- 福祉用具貸付事業
- 福祉教育の推進
- ボランティア活動の推進
- 災害ボランティアセンターの体制整備
- 共同募金運動等の推進
 - ・共同募金
 - ・歳末たすけあい募金
 - ・日赤募金
- まごころ銀行
- 団体等の支援



令和6年度 資金収支予算書

(単位:円)

勘定科目		金額
事業活動による収支	収入	会 費 収 入 1,118,000
		寄 付 金 収 入 800,000
		経 常 経 費 補 助 金 収 入 60,933,000
		受 託 金 収 入 25,649,000
		事 業 収 入 326,000
		介 護 保 険 事 業 収 入 142,373,000
		障 害 福 祉 サ ー ビ ス 等 事 業 収 入 1,353,000
		受 取 利 息 配 当 金 収 入 10,000
		そ の 他 の 収 入 1,796,000
	支出	事 業 活 動 収 入 計 ① 234,358,000
		人 件 費 支 出 179,486,000
		事 業 費 支 出 44,470,000
		事 務 費 支 出 19,049,000
事業活動資金収支差額③=①-②	助 成 金 支 出 1,664,000	事 業 活 動 支 出 計 ② 244,669,000
		事業活動資金収支差額③=①-② -10,311,000

勘定科目		金額
その他の活動による収支	収入	積 立 資 産 取 崩 収 入 1,265,000
		拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入 3,691,000
		サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 収 入 12,222,000
		そ の 他 の 活 動 収 入 計 ④ 17,178,000
	支出	積 立 資 産 支 出 1,218,000
		拠 点 区 分 間 繰 入 金 支 出 3,691,000
		サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 支 出 12,222,000
		そ の 他 の 活 動 支 出 計 ⑤ 17,131,000
	その他の活動資金収支差額⑥=④-⑤ 47,000	
	予 備 費 支 出 ⑦ 0	
当期資金収支差額合計⑧=③+⑥-⑦		-10,264,000

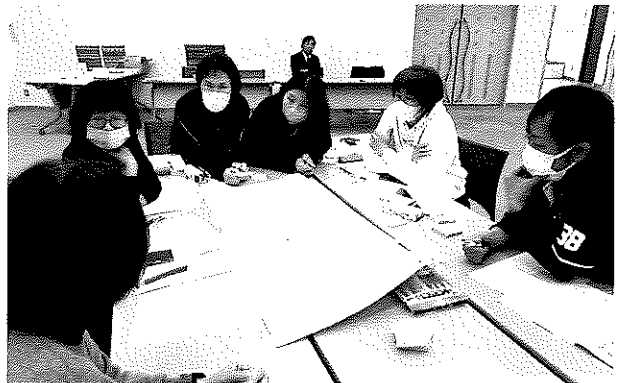
前 期 末 支 払 資 金 残 高 ⑨	86,480,000
当 期 末 支 払 資 金 残 高 ⑧ + ⑨	76,216,000

令和5年度 災害時対応訓練 in いかた ～災害時にも強い町づくりを目指して～

3月24日(日)講師に一般社団法人FEEL Do 代表理事栗原英文氏をお招きして、役場、社会福祉協議会、福祉施設関係者が集まり「災害にも強い町づくり」について研修会を開催しました。

はじめに、令和6年1月に発生した能登半島地震の現状や課題などのお話から、災害時に備えて職場や家庭で意識していることや、新たな取り組みについて話し合い、その後災害時に関係機関それぞれが担える役割についてディスカッションしました。

町内の関係機関が一堂に会しての研修は今回が初めてでしたが、災害時対応について積極的な意見交換をすることができ、それぞれが日々の業務の価値を再認識すること、協働により被災者に寄り添う支援を行うことの大切さを学びました。



食を通じた地域の支え合い

フードドライブのお礼

1月4日～3月31日までの間、フードパントリーを実施しました。たくさんの食品のご寄付を頂きました。ご協力してくださった皆様ありがとうございました。大切に活用させていただきます。



食を通して地域が繋がる

フードパントリー

頂いた食品は、生活で困りごとを抱えている方や、子育て世帯、地域活動などで活用しています。

子育て世帯に対する支援

子育て中のお母さんを中心に必要な食品を持ち帰って頂き、食品などの価格高騰が続く中「家計が助かる」と喜ばれています。



生活困窮者に対する食料支援

病気などで安定した収入を得ることができないなど、生活に困窮している世帯に食品の支援を行っています。これまで災害用非常食などを提供していましたが、お米や缶詰など日常で使用する食品を提供できるようになり、相談支援体制の強化に繋がっています。



地域活動に対する支援

子ども、高齢者、障がい者などの集いの場において、必要な食品を提供しています。高齢者が集うサロンでは、フルーツポンチやおはぎを作ったりと地域活動の充実に繋がっています。



サロンってなに？

地域にお住まいの住民が気軽に集い、通う場所をつくることを通じて、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をするための活動です。

また、会話や外出機会の少ない高齢者、子育て中の母親等の身近な「地域の交流の場」でもあります。交流することにより、閉じこもりの予防や子育てに関する不安の解消、情報交換の場としての効果が期待されています。



ふれあい・いきいきサロン

地 区		サロン名	サロン数
伊方地域	湊 浦	ふれあいサロンみなと	10サロン
		すみれ会	
		絵手紙サークル「いよかん」	
		マリーゴールド伊方	
	河 内	ナデシコサロン	
		なかよしサロン	
		マーガレット	
川永田	コスモス		
二 見	虹の会		
	田之浦ふれあいサロン		
瀬戸地域	塩 成	はまひるがお	3サロン
	大 江	大江ふれあいサロン	
	川之浜	川之浜やすらぎサロン	
三崎地域	三 崎	よつばサロン	4サロン
	正 野	かざぐるま	
	二名津	野菊	
	名 取	名取菜の花	

ふれあい・子育てサロン

地 区		サロン名	サロン数
三崎地域	二名津	E-MaMaクラブ	2サロン
	三 崎	みさきあかちゃんず	

あなたの地域にも、サロンを作ってみませんか？

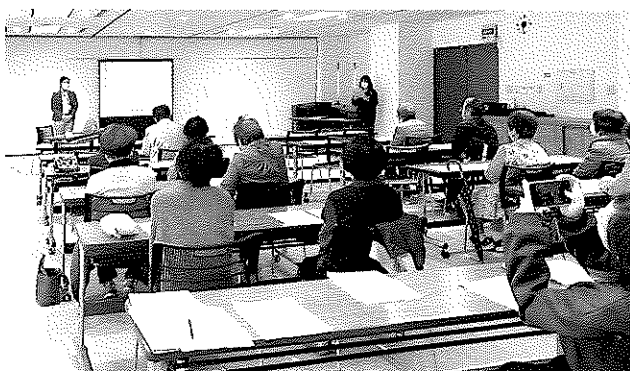
地域住民が住みなれた場所で生き生きと暮らせることを目指しています。サロンに関するご相談は、伊方町社会福祉協議会（☎ 38-2360 宝栄）までご連絡ください。

ふれあい・いきいきサロンお世話人研修会

3月19日（火）町内で活動中のふれあい・いきいきサロンお世話人さん研修会を開催しました。

伊方町中央保健センターの協力のもと、「NPO 法人こころ塾」から村松亜美先生をお招きし、「地域で支えるところといのち」と題して自殺防止対策の講話を行いました。

参加者からは「サロンで悩んでいる人がいたら、やさしく声をかけたいと思った」などの感想をいただきました。



赤十字の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社伊方町分区では、毎年5月の赤十字運動月間を中心に、各地区の区長さんなどのご協力により、活動資金のご寄付をお願いしています。

お預かりした活動資金は、伊方町分区から愛媛県支部に送金し、自然災害などにおける災害救護活動や国際救援活動をはじめ、地域での赤十字活動など様々な人道的活動に大切にに使わせていただきます。ぜひご協力をお願いします。

日本赤十字社愛媛県支部

☎ (089) 921-8603

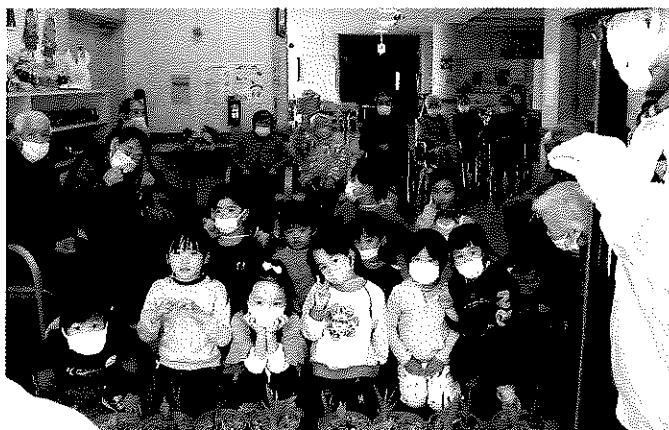
伊方町分区（伊方町社会福祉協議会内）

☎ 38-2360

※活動資金へのご協力は任意であり、強制ではありません。

※領収書により、税制上の優遇措置が受けられます。

デイサービスセンターへ 「人権の花」贈呈



伊方・町見・瀬戸・三崎デイサービスセンターに町内の保育園児が丹精込めて育てたチューリップの花をいただきました。

伊方老人デイサービス「オンラインで松山城散策」

3月12日（火）伊方老人デイサービスセンターにおいて、第一興商様の企画によるカラオケシステムを使った、オンラインツアーに参加しました。

この企画は施設にしながら旅気分を味わえるレクリエーションで、今回は愛媛県の松山城から中継を結びオンラインツアーを楽しみました。



九町小学校5・6年生 町見デイサービス訪問

3月6日(水) 九町小学校5・6年生児童12名が町見老人デイサービスセンターを訪問してくれました。

心温まるメッセージとDVDをいただき、皆でDVDを拝見しました。手話での「ふるさと」、リコーダー演奏など楽しい時間をありがとうございました。



ご寄付ありがとうございました!

次の方々から、社会福祉協議会「伊方町まごころ銀行」へご寄付をいただきました。あたたかい寄付金に深く感謝し、福祉活動に活用させていただきます。

- ・丸山 明子 様 (湊浦)
- ・三崎中学校生徒会 様
- ・篠川 光加 様 (湊浦)
- ・瀬戸中学校 様

令和6年2月19日から3月31日まで



相談料
無料

心配ごと相談

伊方町社会福祉協議会では、民生委員と弁護士による心配ごと相談所を開設しております。心配なことがある…悩みをかかえている…といった方は、是非相談してみてください。

民生委員相談

相談時間

午後1時～午後3時30分
(三崎地区については午前9時00分～11時30分)

地区名	開設場所	5月	6月	7月
伊方	伊方町民会館	2日	6日	4日
町見	町見公民館		20日	
三崎	三崎保健福祉センター	17日	21日	19日

※瀬戸地区については、社協瀬戸支所の事務所、民生委員の自宅で実施しています。

※会場等の都合により日程が変更になる場合があります。

弁護士相談

相談時間

午後2時～午後5時

【予約制】

地区名	開設場所	5月	6月	7月
伊方	町見公民館		21日	
瀬戸	瀬戸町民センター	17日		
三崎	三崎保健福祉センター			19日

※【予約制】となっておりますので、ご相談を希望される方は、相談日の前日までに社会福祉協議会本所(TEL38-2360)へ予約をお願いします。

※弁護士の都合により日程が変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染状況により、休止となる場合がありますので事前にお問い合わせ下さい。

社会福祉法人 伊方町社会福祉協議会へのお問い合わせ

●伊方本所

〒796-0301

西宇和郡伊方町湊浦1995番地1

TEL (0894)38-2360

FAX (0894)38-2363

●瀬戸支所

〒796-0502

西宇和郡伊方町三机乙1087番地1

TEL (0894)57-2180

FAX (0894)57-2181

●三崎支所

〒796-0801

西宇和郡伊方町三崎1700番地16

TEL (0894)54-2222

FAX (0894)54-2223